

『願い』 一歩前へ

長浜市立西中学校 学校だより 第12号

令和6年1月9日 発行文責；小川淳三

生活スローガン「あすこそは」

あいさつ・スマイル・こしほね・そうじ・はきもの

何となく 今年はいい事 あるごとし 元日の朝 晴れて 風無し

新年あけましておめでとうございます。2024年は、石川啄木が詠んだ青空のスタートとなりました。元日の青空に、何となく今年はいい事がありそうだと喜んでいたら、大きな揺れを警告する緊急地震速報の警報音が鳴り響き、大地が大きく揺れました。その瞬間、皆さんは、どこで誰と過ごしていたのでしょうか。最大震度7を記録した能登半島地震は甚大な被害をもたらしました。翌日には、羽田空港での航空機衝突・炎上事故がありました。帰省して心を温めていた人にも、初詣で「よい年」を願う人にも、災害や事故は時と場合を選ぶことなどないということ。そんな当たり前のことを、改めて胸に刻む年明けになりました。

辰年の年初にあたり、知ってほしい言葉・心構えがあります。それは「屠龍技(とりゅうのぎ)」。次の文章を読んでください。

「屠龍技」という言葉をご存じでしょうか。なかなか、普段は聞きなれない言葉です。東京消防庁ハイパーレスキュー第六方面本部の壁に、この「屠龍技」と書かれた額縁が掲げられています。

『昔、中国の山奥に悪い龍が住みつき、時折現れては村人に害を及ぼしていました。一人の青年が、「誰かがこの龍を退治しなければならぬ」と考え、その龍を屠る(打ち負かす)技を身につけるべく体を鍛え、技を磨き、万が一に備えました。これを「屠龍の技」と言いました。しかしその後、龍は二度と村に姿を現しませんでした。一方で、青年はそれから一生をかけ、体と技を鍛え続けました。』これは中国の思想家荘子が伝えた話だと言われています。辞書で調べると「屠龍技」とは「現れない龍のために努力すること。すなわち無駄な努力。」と書いてあります。しかし、東京消防庁ハイパーレスキューでは、この後に3行を書き加えています。

『われわれは龍の出現の有無にかかわらず屠龍の技を磨く。実際に天災は起きない方がいい。だから無駄になった方がいい。ただし万が一、現れたら一撃のもとにこれを屠る。それがわれわれの目指すべきところである。』

東日本大震災の時、福島第一原発での事故に東京消防庁ハイパーレスキューの3つの部隊が駆け付け、消火給水活動を成功させました。日本中が混乱しかけていたあの時、実際に「屠龍技」は使われていたのです。

さて、どのような仕事であっても万事に備えることは大切です。様々な場面を想定し、できる限りの準備をすると、どんな事態でも対処ができます。また、普段からそう心がけていると、生活の中での「気づき」も多くなります。気がつける人は、安全に関することだけでなく周囲のことも考えることができます。私たちの暮らしには、必ず相手が存在します。その相手のことを思い、気づいて行動できることを「思いやり」と呼びます。

私たちの生活の中では、実物の龍を倒す技を使うことはありません。しかし、相手を思いやり、行動する技を使う場面はたくさんあります。その技を磨いていくためには、一生をかけて鍛え続ける必要があります。 長浜教育集会所 令和5年12月1日発行『かけはし』NO.281号より

「吾道一以貫之」

「吾が道は一以て之を貫く」と読みます。3年生の国語で学習する『論語』の中の孔子の言葉で、「わが人生は一つのこと

で貫かれている」という意味です。では、その一つのこととは・・・。

子曰く、参や、吾が道は一以て之を貫く。曾子曰く、唯と。子出ず。

門人、問うて曰く、なんの謂いぞや。曾子曰く、夫子の道は忠恕のみ。(里仁)

先生が曾子(孔子の弟子)におっしゃった。「参(曾子)よ、私の生き方は一つのもので貫かれている」と。

曾子はただ「はい」と答えた。先生は部屋を出て行かれた。

門人たちが「何を言いたかったのですか」と尋ねた。曾子が言った。

先生が貫かれている生き方は、人を尊ぶまごころからの思いやり、それに尽きる」と。

「一以て之を貫く」という言葉は、言い換えれば「決めたこと、ひとつのこと」を「やりとおす」ということです。自分の信念を貫き通す、これと決めたことをやりとおす、なかなか簡単にできることではありません。「忠恕」の「忠」とはまごころのこと。「恕」とは、自分の心の如(ごと)く相手の心をおしはかること、思いやりを意味します。『論語』でしばしば触れられる「仁(じん)」にも通じます。それは、孔子の一貫した生き方でした。「屠龍技」を磨くことを貫いた若者もいました。

去年今年 貫く棒の如きもの 高浜虚子

この俳句にも「貫く」という言葉があります。

去年今年とは、昨日が去年で今日は今年という一年の変わり目をとらえ、ぐんと大きく表現した新年の季語です。この「学校だより」で去年今年という2年をまたいだ内容は何だったのでしょうか。

それは「思いやり」です。

- ◇「思い」は見えないけれど「思いやり」はだれにも見える。(前号)
- ◇私たちの暮らしには、必ず相手が存在します。その相手のことを思い、気づいて行動できることを「思いやり」と呼びます。(表面)
- ◇先生が貫かれている生き方は、人を尊ぶまごころからの思いやり、それに尽きる。(上段)



どういう事態が起きても貫く意志、孔子にとっての思いやりのような、人生を貫く棒のような、揺るがぬ信念を持ちたいと思います。右上は「長浜市人権尊重啓発作品」で最優秀作品に選ばれた2年・西尾美優羽(みゆう)さんのポスターです。さざなみタウン2階で1月11日(木)午前まで展示中。

じょうしょうきリュウ(上昇気流)の一年に!

大阪市の通天閣は12月27日、年末の恒例行事「干支の引き継ぎ式」を行い、だじゃれを織り交ぜた軽妙(かひょう)なやりとりの口上を読み上げました。勢いのある成長の年にしていきましょう。

2023年(卯年)の口上 (一部省略)
今年(今年)はコロナが5類へ移行! いつも、そバニー(側に)いたウイルスと距離を取り、従来の生活を取り戻したいところです。そんな中、侍ジャパンの世界一や藤井聡太さんの八冠制覇、阪神タイガース18年ぶりのアレ(A.R.E.)など、ピョンピョン跳ねたいぐらいの嬉しいことがたくさんありました。一方で、ガソリン代、電気、ガス、食料品値上げと、長い耳もウサギ(塞ぎ)たくなる話題が多く、どうもうまく(上手く)いきませんでした。

2024年(辰年)の口上
コロナも新たなステージになったとはいえ、日々の生活にはごリュウ意(ご留意)を!
2024年はパリオリンピック・パラリンピックがあります。ひリュウじょううん(飛竜乗雲)を願い、勢いある年、成長の年にしてみせます!
皆さまも、リュウリュウ(隆々)と勢いに乗った、じょうしょうきリュウ(上昇気流)の一年になりますように!